

暖房器具の事故

事故の概要

【事例①】石油ファンヒーターを使用中、製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。

【事例②】ゆたんぽを使用中、脚に低温やけどを負った。



事故の原因

【事例①】使用者が石油ファンヒーターのカートリッジタンクに誤ってガソリンを給油して点火したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと考えられる。

【事例②】使用者がゆたんぽを長時間脚に接触させて使用したため、低温やけどを負ったものと考えられる。



事故防止のために

- ◆可燃物の近くでは使用しない。特に衣類などを乾かしたり、つけたまま就寝したりすることは絶対にやめる。
- ◆給油時は必ず消火をし、カートリッジタンクのふたは確実に締める。給油口キャップが閉まったことを確認しやすく改良された製品への買換えを検討する。
- ◆誤給油を防ぐため、灯油とガソリンは専用容器に入れ、別々の場所に保管する。
- ◆やけどに注意する。ゆたんぽや電気あんかは、就寝前にふとんの中に入れ、温まったらふとんから出してください。